

北海道浮魚ニュース

平成 11 (1999) 年度 23 号 (通巻 No.69)

1999 年 10 月 26 日

北海道立中央水産試験場 Tel 0135-23-8707 Fax 0135-23-8709
釧路水産試験場 Tel 0154-23-6221 Fax 0154-23-6225
函館水産試験場 Tel 0138-57-5998 Fax 0138-57-5991
稚内水産試験場 Tel 0162-32-7177 Fax 0162-32-7171
網走水産試験場 Tel 0152-43-4591 Fax 0152-43-4593

オホーツク海 根室海峡スルメイカ調査結果

10月14日から20日に漁獲調査と海洋観測を網走沖と根室海峡で行いましたので、その結果をお知らせします。漁獲調査は網走沖の2調査点と根室海峡の1調査点で、海洋観測は網走沖の2調査点と根室海峡の7調査点で行いました(図1)。

根室海峡の St. a~ St. f の水温断面図を図2に示しました。表面水温は 15.8~16.3、50m層水温は 15.2~15.9 で、St. f~ St. d の表面水温が若干高かった以外は、前年並みでした。網走沖の2調査点の水温は、表面が 16.0、50m層が 15.5~15.8 と前年並みでした。

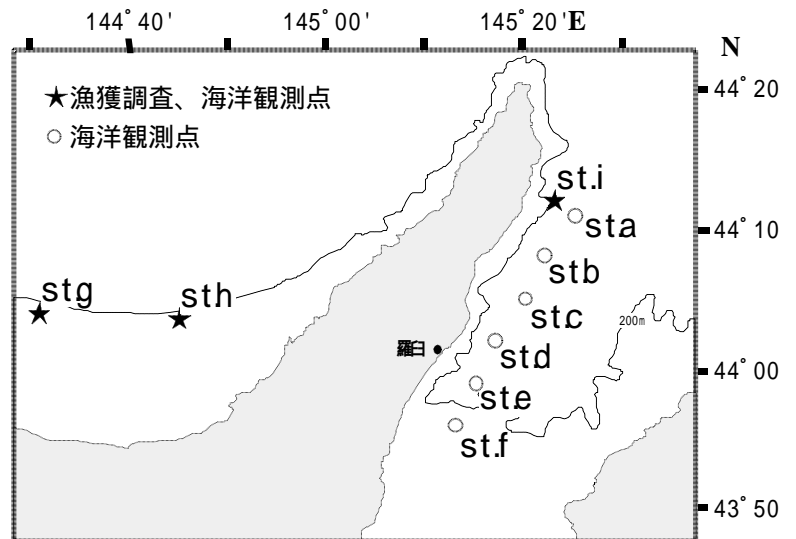


図1 スルメイカ漁獲調査 海洋観測点

スルメイカの漁獲尾数は、St. gで54尾(手釣り51尾・自動イカ釣り機3尾)、St. iで40尾(手釣り)でした。St. hでは漁獲されませんでした。

漁獲したスルメイカの外套長範囲は St. gで 18~29cm (モード* 21cm)、St. iで 14~24cm (モード 20cm) でした(図3)。

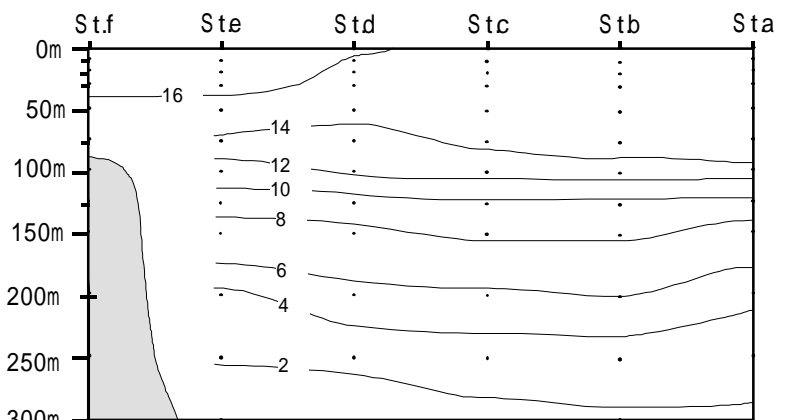


図2 根室海峡における水温断面図

St. gとSt. i共に、前年より大きな

っていました。

*モード最も多く漁獲されたイカの外套長

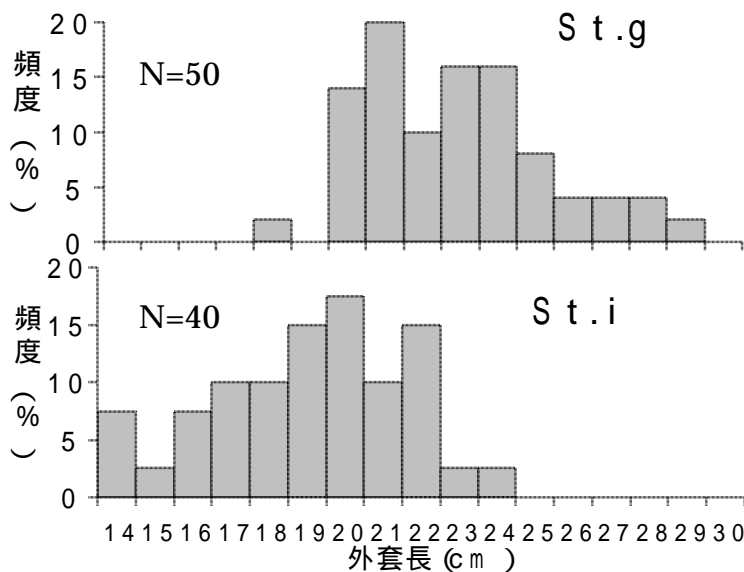


図3 スルメイカ外套長組成図 (n:測定尾数)

オホーツク・根室海峡サンマ漁獲調査結果

今回の調査では、スルメイカの調査と並行してサンマの漁獲調査も行いました。海洋観測を網走沖の4調査点、漁獲調査を網走沖の2調査点と根室海峡の1調査点(図4)で行いましたので、その結果をお知らせします。

St. k~ St. nの、表面水温は 12.0~13.6、50m層水温は 5.7~8.0 でした(表1)。表面水温は前年並みでした。

漁獲調査は3調査点で、流し網1~2反を使用し、漁獲を行いました。使用した目合は、St. gでは25と29mmを、St. ㏍では29mmでした。St. ㏍では、目視の結果大型主体だったので、37

mmを使用しました。漁獲尾数は、St. gで822尾、St. ㏍2,893尾、St. ㏍206尾でした。また、St. gではカタチイワシが65尾混獲され

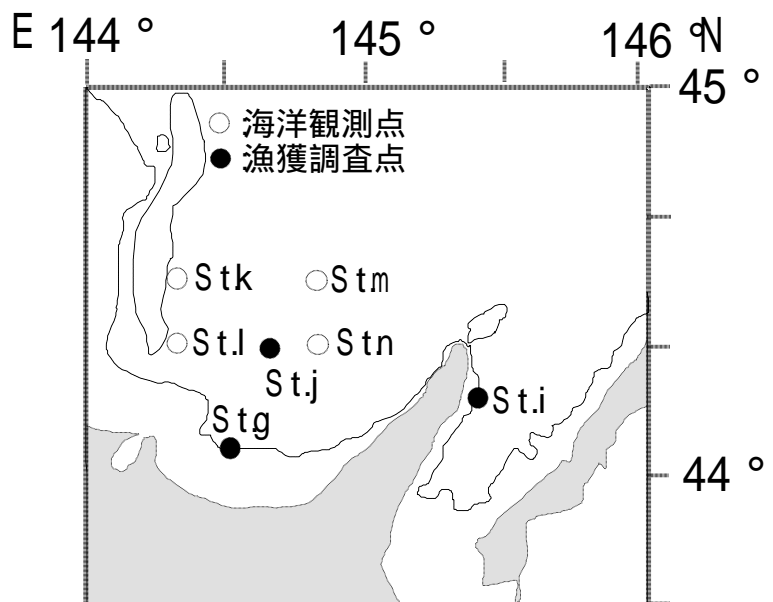


図4 サンマ漁獲調査点

ました。

漁獲したサンマの大きさは図 5のとおりです。

表 1 オホーツク海サンマ漁場海洋観測結果 **

調査点	St.g	St.h	St.i	St.k	St.l	St.m	St.n
位置	44-04N 144-30E	44-04N 144-45E	44-12N 145-24E	44-30N 144-20E	44-20N 144-20E	44-30N 144-50E	44-20N 144-50E
月日	10/18	10/18	10/19	10/15	10/15	10/15	10/15
水	0m	16.0	16.0	15.0	12.6	12.0	13.6
温	50m	15.8	15.5	14.6	5.7	8.0	6.7
()	100m		14.7	13.4	1.4	1.0	1.2
						2.3	

**漁獲調査点 St.g~ も含む、また St.j では海洋観測を行っていません。

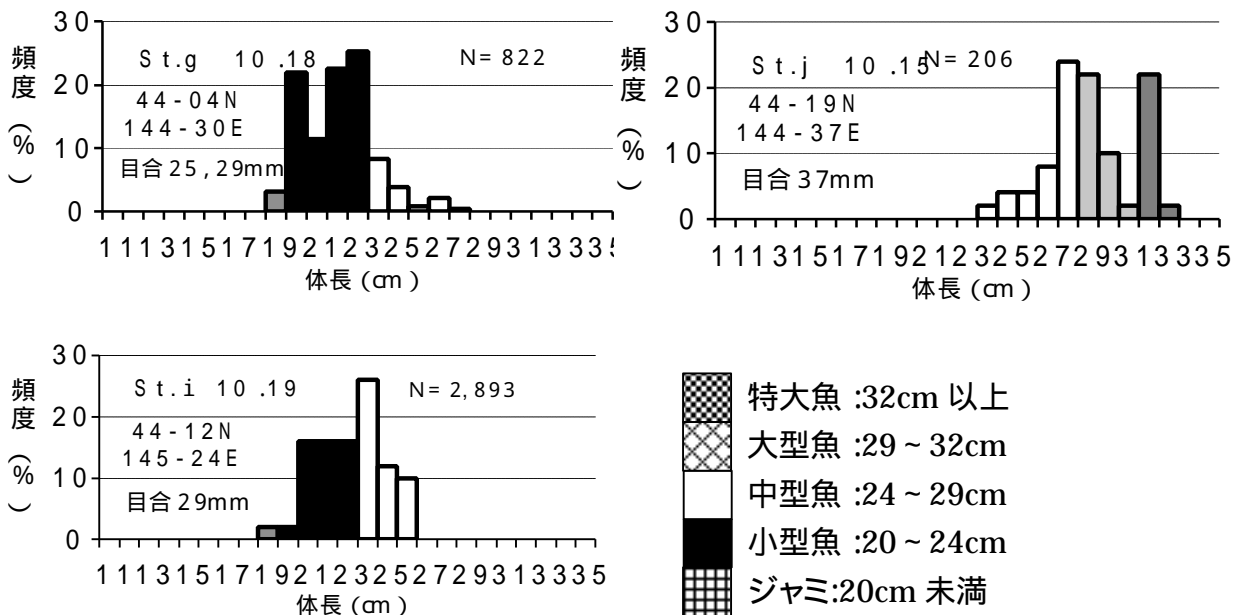


図 5 流し網で漁獲したサンマの体長組成図 (N: 漁獲尾数)

上段: オホーツク海

下段: 根室海峡

(文責 釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222)